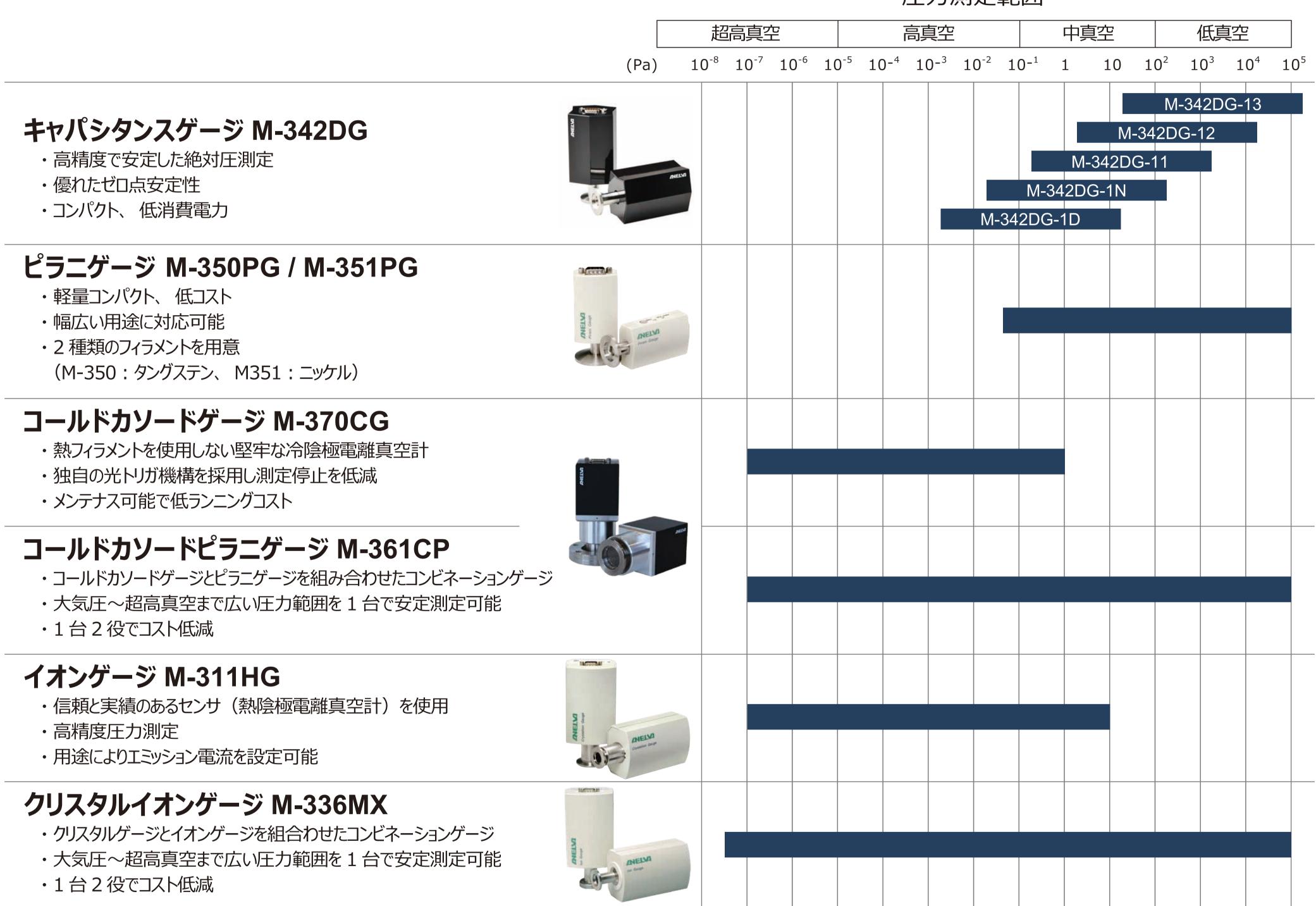


優れたコストパフォーマンスを実現

トランスデューサ型真空計シリーズ

圧力測定範囲



表示器 (1ch / 3ch) M-601GC / 603GC

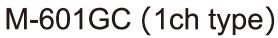
トランスデューサ型真空計シリーズ対応の表示器

- ・全てのゲージを自動認識
- ・用途に合わせ 1ch タイプ / 3ch タイプを用意
- ・RS-232C インターフェース標準装備
- M-603GC

3ch 同時表示可能

デジタル、アナログ表示選択可能 トレンドグラフ表示







M-603GC (3ch type)



スパッタプロセスモニタリングと残留ガス分析の両立

プロセスガスモニタ M-080QA-HPM

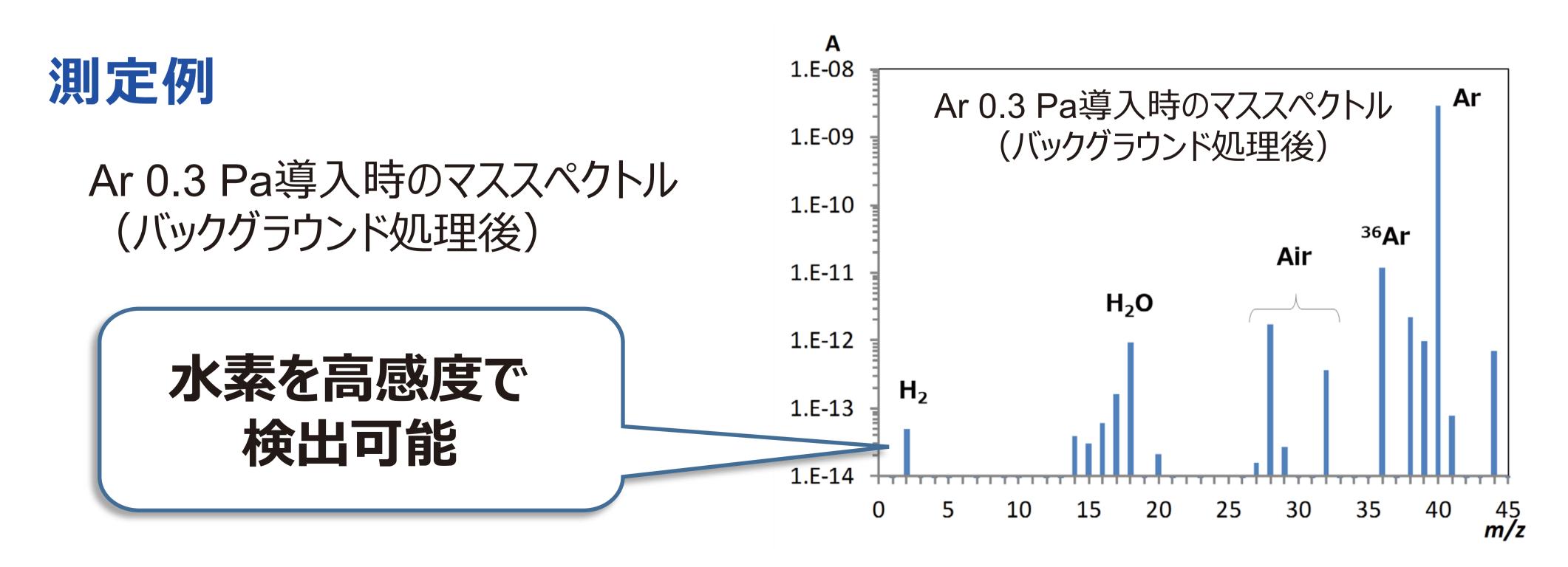


スパッタ成膜における製品の 品質管理と装置の不具合解析

- ✓ スパッタ成膜プロセス中のガスモニタ
- ✓ 残留ガス分析
- ✓ リークチェック

特長

- 差動排気系なしで 2 Pa以下の圧力で動作可能
- プロセス中の水素を高感度で検出
- フィラメント寿命が長く低TCO
- 特別仕様により酸化膜プロセスも対応





業界最高レベルの感度、反応性を実現

ヘリウムリークディテクタ HELENシリーズ

用途に合わせた幅広いラインナップ

コンパクト

M-212LD M-212LD-D 機動性を重視した コンパクトタイプ 各種真空機器の メンテナンス、 フィールドサービスに最適





スニファ

M-232LD スニファ法専用機 自動車部品、 冷凍空調部品の 加圧検査に最適

ハイパワー

M-222LD M-222LD-D 大容量の粗引きポンプを 搭載したハイパワータイプ





高感度·大排気量

M-222LD-H
M-222LD-D-H
高感度タイプ
FINEモードを基準とした
高感度・高レスポンスタイプ

M-222LD-D-H_500 高感度・大排気量タイプ 500L/min ルーツポンプ 仕様の大排気量タイプ

特長

- 業界最高レベルの感度、安定性、応答性
- 標準搭載のハンドコントローラーにより、ボタン操作ひとつで検査ができます
- お客様でのフィラメント交換が可能で、メンテナンスコスト削減
- 各種電圧に対応 (海外電圧)
- スニファ・ボンビングなどさまざまな測定をサポートするアクセサリを用意

CANON ANELVA CORPORATION



業界最高レベルの感度、反応性を実現

ヘリウムリークディテクタ HELENシリーズ

測定法と利用例



自動車関連部品

- ・エンジン系部品 ラジエター インジェクター
- インジェクター ・燃料系部品
- 燃料系部品 燃料タンク パイプ

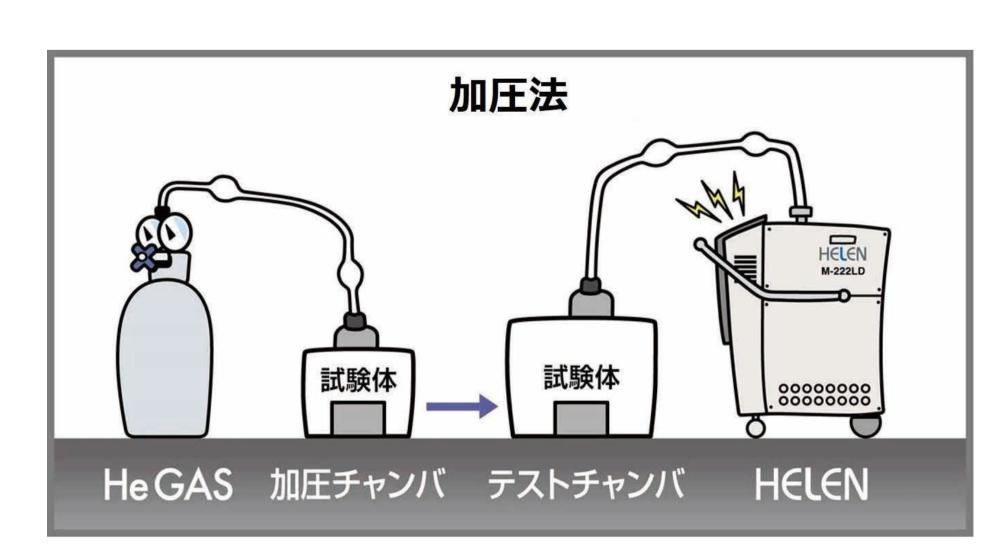
冷凍空調機器

エアコン部品 熱交換器 配管

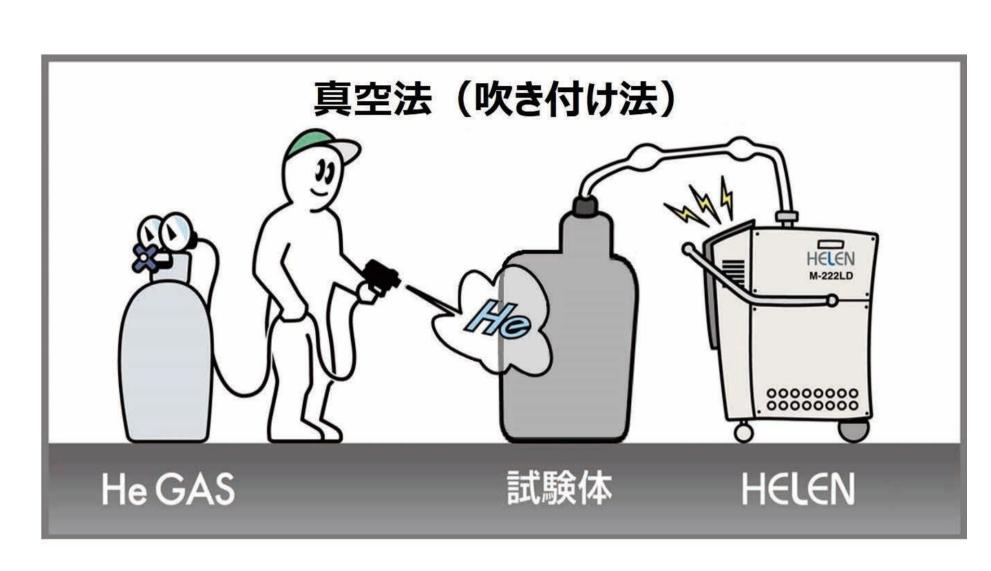
その他

- ・食品
- 医療機器
- ・ガス機器
- ・各種配管



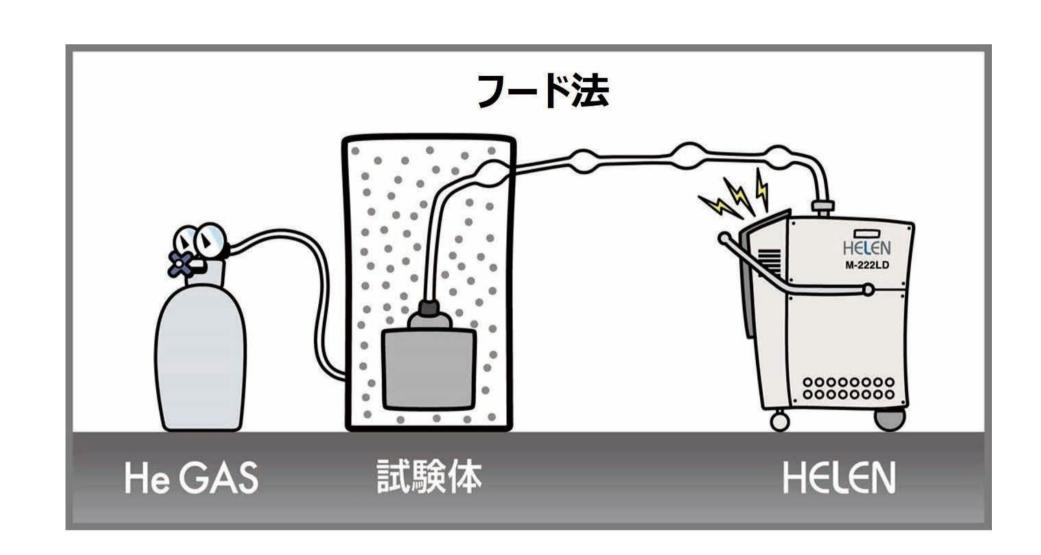


パッケージ IC 水晶振動子 SAW フィルター リレー



大型試験体

- 半導体製造装置
- 電子部品用真空利用装置



小型試験体

- ・真空部品・真空容器
- ・溶接配管・溶接ベローズ
- ・機密端子等







省エネとランニングコスト削減に貢献

クライオポンプ ECO3.0システム

POWER^{ECO}3.0システム制御イメージ



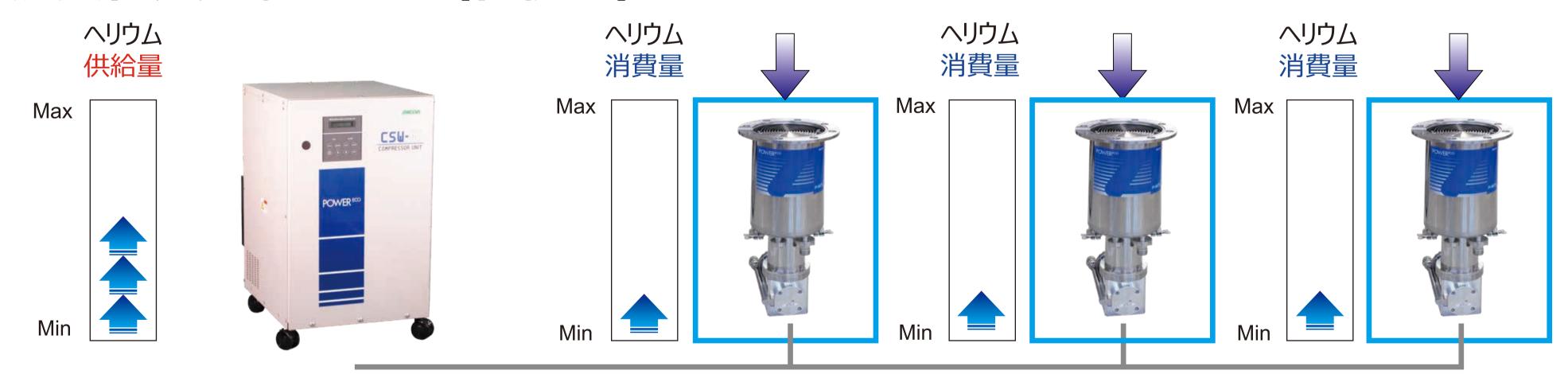
サプライとリターン側の圧力差が一定になるように圧縮機本体の回転数を制御。

消費された分のみ圧縮機からヘリウムを供給する。(消費された分のみ圧縮)

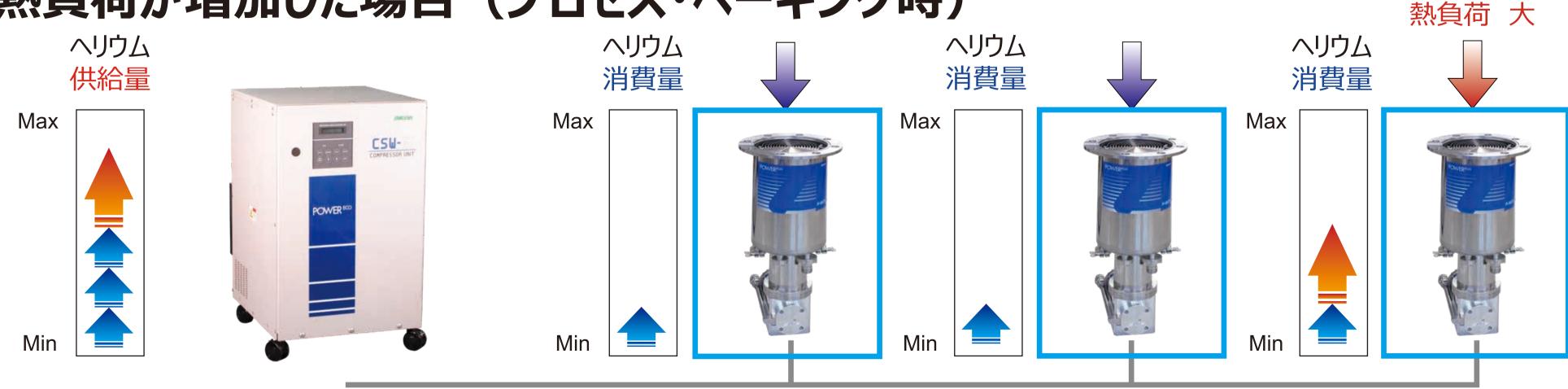
クライオポンプ 1 st ステージ温度が一定になるように 冷凍機の出力を調節して運転。

ヘリウムガスの消費量は、クライオポンプへの熱負荷に等しい。

● 熱負荷が少ない場合 (待機時)



● 熱負荷が増加した場合 (プロセス・ベーキング時)



※ ポンプ複数台運転の場合は個々のポンプ負荷に応じて制御します



省エネとランニングコスト削減に貢献

クライオポンプ ECO3.0システム

POWER ECOシリーズ クライオポンプ の「ECO3.0システム」によるメリット

高い冷凍能力と独自の制御方式によって1歩先のご要求にお応えします。

1. 省エネルギー

- ・ポンプの負荷状況に合わせた運転制御
- ・マルチ運転によるコンプレッサユニット削減を行うことで、 圧倒的な省エネルギー性能を実現





制御周波数	回転数	メンテナンスサイクル延長率(時間)
60 Hz	72 rpm	1.0 倍(16,000 時間)
50 Hz 制	60 rpm	1.2 倍(19,200 時間)
40 Hz 範	48 rpm	1.5 倍(24,000 時間)
35 Hz	42 rpm	1.7 倍(27,200 時間)
30 Hz	36 rpm	2.0 倍(32,000 時間)

2. メンテナンスサイクルの延長

熱負荷に応じて、ポンプの回転数を制御する事で 摺動回数が削減されメンテナンスサイクルが延長 されます

1.2~1.7倍の延長が期待(当社比)

3. 稼働率向上

・ポンプ立上げ時間短縮

206分 → 98分 約1/2 に短縮

※ 数値は当社比較による

・メンテナンスサイクル延長により 装置稼働率向上

